

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 肺癌術後検体評価による薬剤性肺障害発症の検討

研究の目的

現在肺癌の治療方法として、免疫細胞に作用する免疫チェックポイント阻害薬や、発癌の原因となる遺伝子異常に治療効果が期待できる分子標的薬を用いた治療法の開発が進められ、肺癌の生命予後改善が期待されています。現在は肺癌手術前後にそれらの治療を併用する方法が検討されており、患者様毎に適切な治療法を検討することが必要不可欠になっています。免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬においては、治療の副作用として、薬剤性肺障害が出現する可能性がある点が大きな懸念点となっています。

そこで本研究では、薬剤性肺障害が発症する可能性の高い症例をみつけるため、肺癌手術で得られた腫瘍周辺の正常肺を顕微鏡で観察することで、薬剤性肺障害を発症しやすい組織像を検討することを目的とします。これにより今後の患者様の治療選択に大きく貢献します。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2029年 3月 31日

対象となる方： 2010年1月1日から2028年12月31日までに、本学附属病院で肺癌外科的切除を受けられ、その後に免疫チェックポイント阻害薬または分子標的薬治療を受けられた方。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、喫煙歴、既往歴、肺外科手術の術式、切除部位、病期、病理結果、血液データ、画像所見、呼吸機能検査、術後補助化学療法の有無とその内容、肺癌再発の有無と再発後治療の内容、薬剤性肺障害発生の有無と薬剤性肺障害への治療内容、治療経過について、標記研究のために利用します。また肺癌手術で得られ、保管されている検体を用いて組織学的解析を行います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	呼吸器内科学講座 布村 恭仁, 連絡先 0172-39-5328 電子メール 1560nuno@gmail.com
-------	--